

中央分離帯開口部等の狭い隙間からの漏水(つらら)を防止します。



■従来の対応

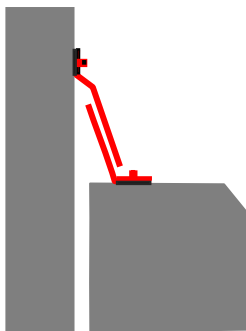
従来はゴム版などで止水対策を行ってきた。

■従来の工法の課題

- ①ゴム等の材料は紫外線に弱く、長期の止水はできない。
- ④伸縮装置部の止水は不可能。



■ステンレスを加工して上部工の動きに追従できる構造



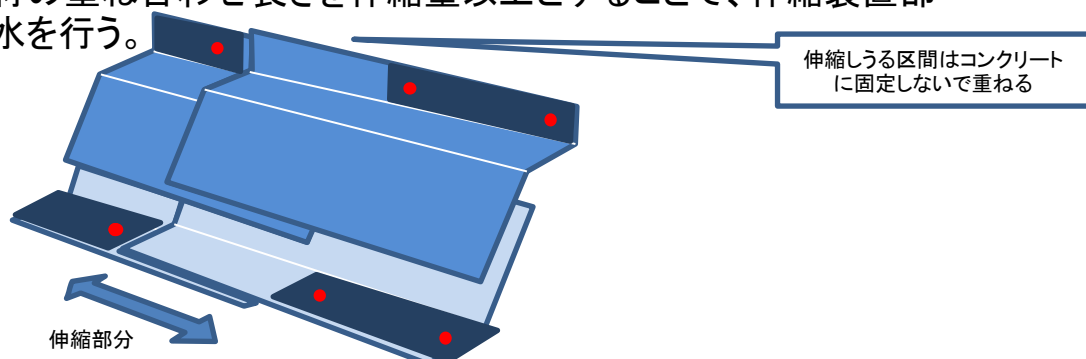
特徴

- ①溶接構造を持たないステンレスで構成されているので長期耐久性がある。
- ②縦、横、上下の構造物の動き(地震、振動、温度変化等)に追従できる。
- ③施工性に優れる。
- ④伸縮装置区間の止水が可能。



■ 構造の特徴

- ①加工されたステンレスは開口部の両端に別々に固定される。
- ②下の部材と上の部材は繋がっていないので、振動、地震などでも自由に動くため、固定点で壊れることがない。
- ③下の部材と上の部材は重なる部分があり、水や雪が遊間に行かない構造となっている。
- ④部材の長さは120cmで3cmの重ね合わせの区間を設けて耐久性に問題が生じやすい溶接によらない接続方法。
- ⑤部材の重ね合わせ長さを伸縮量以上とすることで、伸縮装置部の止水を行う。



■ 施工状況写真



下部材の設置



上部材の設置



伸縮装置部

お問い合わせ:株式会社 **松下製作所**
〒357-8691 埼玉県飯能市双柳263-1

TEL:(042)972-5131 FAX:(042)972-6331
URT <http://www.matsushitaworks.co.jp> E-mail suzuki-yuji@ba2.so-net.ne.jp

特許出願中 (特願2014-212303)